

つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 25th year since 1986

4月21日(木) 例会報告



例会報告

幹事報告 皆葉真治幹事

臨時クラブ総会

招待卓話 筑波銀行総合企画部経済調査室長 熊坂敏彦氏
「茨城の新産業について」

米山奨学生紹介 申文浩(シンムノ)様

会員誕生祝



幹事報告

皆葉真治幹事

1. 交通遺児育英会より震災のお見舞いの手紙をいただきました。
いのちの電話より月刊誌をいただきました。
2. 2012-13年度ロータリー財団国際親善奨学生の公募が届いております。次回の理事会で審議し、承認されれば会長・幹事で面接を行う予定です。



臨時クラブ総会

議長 川崎庄一会長

この度の東日本大震災の影響を受けて、副会長候補と副幹事候補が退会されました。そのため臨時理事会を開催し、改めて副会長候補と副幹事候補を選任させていただきました。

次次年度副会長候補 中山正巳会員

次次年度副幹事候補 大里喜彦会員

また、次年度の委員長にも変更がございます。

新世代奉仕委員長として佐藤裕光会員、第2クラブ奉仕委

員長として東郷治久会員、国際奉仕委員長として倉持武久会員の3名が臨時理事会にて承認されております。

議長より採決が求められ、賛成多数で承認されました。おめでとうございます。



招待卓話①



招待卓話をする熊坂敏彦様

招待卓話 いばらき版「新成長戦略」

筑波銀行総合企画部経済調査室長 熊坂敏彦様

本日は政府の「新成長戦略」を中心として茨城県における成長戦略をご説明させていただきたいと思っております。

政府の「新成長戦略」の柱は以下の4項目です。まずは政府の新成長戦略にてらしあわせて茨城県の取るべき戦略を比較してみたいと思っております。

1. グリーン・イノベーションによる環境エネルギー大国戦略
茨城県は、新エネルギー立県として政策的に加速させなければならぬと考えております。特に今回の原発事故を受けた脱原子力に向けたエネルギー源のベストミックスの検討が課題となります。

2. ライフ・イノベーションによる健康大国戦略

茨城県には医療立県としてのシーズが多数ございます。茨城県は医療立県戦略を推進するべきであります。

3. 地域活性化戦略

茨城県は全国第2位の農業国であり、農業立県の可能性も大きいです。風評被害に負けることなく農業立県戦略を高めていかなければなりません。

4. 科学・技術・情報通信立国戦略

茨城県はつくば市・日立市・東海村などをベースにした科学技術立県を推進すべきです。

まず最初に東日本大震災の被害総額を検証してみたいと思っております。内閣府が岩手・宮城・福島を中心として試算した金額は、ストックベースで16兆円から25兆円ほどと発表されております。茨城県でも総額は把握されておきませんが、ざっくりと住宅被害総額を試算してみましたら民間で2,000億円程、公共施設で1,000億円程になりました。また、民間設備投資の破壊についても日立製作所を中心にかんがりの額に上ります。これに中小企業を合算しますと数千億円になると思っております。住宅被害総額を全国ベースの比率に置きなおして内閣府の数字に掛け合わせますと8,000億円から1兆3,000億円ほどの被害総額になるかと思っております。阪神・淡路大震災の折には半年ほどで落ち着き、その後の復興需要などで経済回復が図れましたが、今回は福島原発問題がございますので、長期にわたるマイナスの影響が懸念されます。次に各項目を茨城県の事例を交えてご説明いたします。

1. 新エネルギー立県

茨城県には東海村の原発、神栖町の火力発電所、ひたちなか市の石炭火力発電所、日立市のLNGの受入基地など多数ございます。ただし、今回の福島原発問題で、今後のエネルギー戦略は大きな見直しが必要かと思っております。それは脱原子力戦略です。そのためには原子力の依存度をカバーするエネルギー源のベストミックスの見直しが必要です。まずは日本らしい省エネルギーの生活スタイルが必要とされます。つまり省エネルギー家電の開発などへの技術開発により全体のエネルギー消費を抑えることが重要です。今までオール電化に見られる電力へのシフトが図られてきましたが、これからは電気とガスの併用が見直されるかと思っております。つまり電気とガスの新エネルギー供給システムの構築が必要です。そこで原子力の補完をなにで図るかと言いますと、当面はLNGつまり天然ガスだと思っております。また再生可能エネルギー（ローカルエネルギー）の見直しも重要です。例えば太陽エネルギーと風力とバイオマスが3本柱になります。茨城県でもローカルエネルギーの導入目標を掲げておりますが、太陽エネルギーは3分の1程度、風力は3倍、バイオマスは2割増しでの達成率になっております。太陽エネルギーや風力エネルギーは出力が非常に不安定です。それを高度なエネルギー利用形態になじませるためにスマートグリッド（次世代送電網）の整備が不可欠です。



招待卓話②



熊坂敏彦様と川崎庄一会長

招待卓話 いばらき版「新成長戦略」

筑波銀行総合企画部経済調査室長 熊坂敏彦様

つくば市では伊藤忠商事と太陽エネルギーの利用について、特に自動車向けにグリーンクロスオーバープロジェクトを進行しております。また、筑波大学ではバイオマス開発プロジェクトが進行しております。これが成功しますと石油卵や石炭の輸入が必要なくなるかもしれません。放射能汚染地や津波による塩害地区での田畑の再利用も検討されております。

2. 医療立県

つくば市には医療に関する革新的なベンチャー企業がたくさんあります。遺伝子治療やIPS細胞などの分野で先駆的な会社や医療介護用ロボットの会社や高齢者のけがや病気に対する

予防医学の会社や医療用食事の配給分野における会社などがあげられます。

また筑波大学付属病院には陽子線医学利用研究センターがあります。世界でも26ヶ所しかない陽子線治療が年間250件行われております。この治療には250万円ほどかかりますが、日本の富裕層向けだけではなく、東南アジアの富裕層の患者向けのメディカルツーリズム構想も検討されております。

3. 農業立県

現在茨城県は全国第2位の農業国ですが、原発問題などがございましてので長期的な政策立案が必要です。特に茨城県の農業は付加価値政策が低いです。そのため6次産業化への取り組みが課題です。例えば農商工連携への取り組み強化が必要です。例えば農産物を直接売るのではなく加工して売ったり、直売所を設けたり、レストランを併設して食べさせて観光と結び付ける、輸出をして外国の顧客に高く売るなどが挙げられます。また契約取引や産地リレーなどで安定した価格や販売量の安定確保の取り組みも必要です。

つくばでは農産物直売所を設けて農家の再生産に必要な価格での販売をしたり併設の蕎麦屋での営業などをされております。またある農場では農業という特殊な生産プロセスの中に工業の生産方式を取り入れる試みをしております。看板方式の導入や出荷予測や週間ごとの葉中方式の導入や生育のばらつきの分析改善や温室の中の無駄の排除などを徹底的に改善し、収穫量を2倍にしました。

4. 科学技術立県

茨城県には創業100年を向かえた日立製作所もありますし、茨城大学の工学部や日立製作所のいろいろな系列の養成所や専門学校や研究所があります。そのような環境の中で非鉄や金属や機械や電機やプラスチックなどのありとあらゆる技術の集積があるのが日立地区の特徴です。またつくば地区はわが国最大のサイエンスシティです。この研究学園都市には研究機関が300以上ありまして研究者が2万人以上居住しており、研究開発型のベンチャー企業が200社以上あります。特に21世紀に向けた科学技術立県になるためには、東海村のJ-PARCの存在が欠かせません。ここには大強度陽子加速器施設があります。現在震災の影響で稼働しておりませんが、我が国の未来を担うブレークスルー的な技術を開発するためにはJ-PARCの早期稼働が欠かせないと考えております。

また、筑波大学にも科学技術が集積しております。例えば筑波大学発のベンチャー企業の本数は東京大学に次いで2番目です。ITやバイオや機械装置などのベンチャーが82社設立されております。それに産業技術総合研究所発のベンチャー企業が続きます。

最後に茨城県はベンチャー企業の創出育成や産学官の連携や医学と工学の連携や農商工連携などを推進することにより、21世紀に向けた新しい企業や新しい産業が創出できるポテンシャルを秘めた県だと思っておりますし、政府の掲げた新成長戦略に大きく貢献できる県であることを確信しております。

以上で報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。



米山奨学生紹介



自己紹介する申文浩様

ロータリー米山奨学生 申文浩（シムノ）様紹介 川崎庄一会長報告

本日11時より申文浩様に対するカウンセリングを私と岡添紘樹カウンセラーと皆葉真治幹事と事務局の服部さんでさせていただきました。

財団法人ロータリー米山記念奨学会より奨学生のバッチが届いておりますのでお渡しいたします。

続きまして奨学金の14万円と交通費の5千円をお渡しいたします。基本的には第1例会でお渡しさせていただきますが、今回は震災の影響で本日お渡しさせていただきます。

申文浩様自己紹介

皆さんこんにちは。今年から財団法人ロータリー米山記念奨学生になりました筑波大学申文浩（シムノ）と申します。現在博士課程の3年です。出身は韓国です。研究課題は韓国における農業用水です。将来は国際支援関係の分野で研究者になりたいと思います。結婚しておりまして研究学園駅の近くに住んでおります。

私は、米山記念奨学生としていろいろな方との交流を図りたいと思っております。日本人は苗字で相手呼びますが、韓国では名前で呼び合います。自分もムノさんと呼んでいただければと思います。これから皆さんとお話できればと思いますので、よろしくお願いいたします。

4月 会員誕生祝

お誕生日、おめでとうございます！



4月 会員誕生日

3日	大堀	健二	会員
7日	岡添	紘樹	会員
8日	増田	忠則	会員
9日	中山	正巳	会員
11日	高橋	恵一	会員
13日	吉岡	昭文	会員
18日	宮川	健治	会員
22日	本田	史郎	会員
25日	上野	修	会員



4月21日 会場スナップ①



本日は筑波銀行総合企画部経済調査室長の熊坂敏彦様から卓話を頂戴いたしました。東日本大震災の影響は計り知れないものがございますが、茨城県や日本の将来について希望のもてる報告を頂戴いたしました。熊坂様ありがとうございました。





4月21日 会場スナップ②



本日は米山奨学生の申文浩（シン・ムノ）さんが例会に参加してくれました。つくば学園RCが米山奨学生を受け入れるのは非常に久しぶりのこととなります。皆様よろしくおねがいいたします。



東郷治久直前会長より川崎庄一
会長へピンが授与されました。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー・ピンの授与

国際ロータリー日本事務局より川崎庄一会長にロータリー財団管理委員会に変わり、感謝の気持ちを込めてマルチプル・ポール・ハリスフェロー・ピンが贈られました。

ピンは東郷治久直前会長より授与していただきました。川崎庄一
会長、おめでとうございます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

年次寄付または使途指定寄付、あるいはその合計で1,000ドル以上寄付した人がその後1,000ドル寄付するごとにマルチプル・ポール・ハリス・フェローとなります。2,000ドルから9,000ドルまで8段階あります。



25周年のラベルを発表する
上野修会員

25周年記念ボトルのラベル発表

25周年記念ボトルのラベルが決定いたしました。デザインは左の写真をご参照ください。私の知人で東京のグラフィックデザイナーに10枚ほど候補を作成していただき、最終的に浦里浩司会員に決定していただきました。

25周年記念のお酒は浦里酒造店にお願いいたしておりますが、酒米も通常の百万石ではなく山田錦を使用し、ブランド名も霧筑波ではなく25という銘柄で特別に一樽作成していただけます。

もちろんつくば学園RCでも購入させていただきますが、会員の皆様方にも是非個人的に購入していただきたいと思っております。



4月21日ニコニコBOX

井田 充夫	鱒坂さん、卓話ありがとうございます。茨城県のますますの発展の為に、どうするかをしっかりと考えて、いきたいと思います。
大堀 健二	誕生祝いありがとうございます。40代最後の歳になりますが、震災に負けずがんばりたいと思います。
岡添 紘樹	今日から、米山奨学生、筑波大学大学院4年生の申文浩(シムノ)さんを、クラブでお世話することになりました。1年間宜しくお願いします。
川崎 庄一	米山奨学生、申文浩さんを1年間どうぞ宜しくお願いします。
高橋 恵一	誕生祝い、ありがとうございます。65才、自分で制度設計に係わった介護保険の被保険者証が届きました。美術館が半額でした。電車で心遣いを受けました。複雑！
田口 幸男	誕生祝いありがとうございました。
中山 正巳	本日は誕生祝いと役員承認の件、ありがとうございました。「頑張ろう日本！！」

東日本大震災の義援金も随時受け付けております。
会員の皆様方のご協力よろしく
お願いいたします。

本日の合計	¥52,000-
本年度累計	¥1392,000-

出席率報告 4月21日(木) 例会

出席率72%以上 無届欠席ゼロを目指して

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	メイク・ゲスト	出席率
65名	46名	19名	3名	2名	2名	73.84%



プログラム予告

- 4月28日 職業奉仕報告卓話 「石川英昭会員」
- 5月12日 移動例会 オークラフロンティアホテルつくば
アネックス「昴西」 PM6:00~9:00
- 5月19日 家族集会 山水亭 PM6:30~7:00
移動例会 山水亭 PM7:00~9:00
- 5月26日 職業奉仕報告卓話 「柴原 浩会員」
奥様誕生祝・結婚祝
4月ニコニコ大賞
会員誕生祝



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい
<http://www.46gama.com/>

編集後記

(クラブ会報委員長：鯨井)

●現在東日本大震災の復興に向けた財源確保の議論が白熱しております。震災復興税の創設や消費税の増税や所得税の増税などです。なぜ増税の議論かという国債の発行をこれ以上増やしたくないからです。

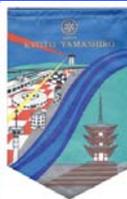
国や地方の財政赤字をリアルタイムで掲載しているHPがあることを皆様ご存知ですか？ここにURLを掲載いたしますので一度ご確認ください。恐ろしい勢いでその額が増えてきております。

<http://www.kh-web.org/fin/>

先日ある都銀の幹部の方とお会いする機会に恵まれました。その方のお話ですと、日本が海外で運用している資産総額は約150兆円（国が120兆円、企業が30兆円）だそうです。財務省はこれを日本に持ち帰れば財政赤字が補てんできますからあわてていないそうです。また日本国内における個人資産も1,400兆円ほどありその大半が60歳以上の方が保有しておりますので相続税の課税強化を図れば財政赤字が補てんできる計算もあります。

こんな政策でいいんですか？はなはだ疑問です。

例会日 木曜日 12:30~13:30
例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」
つくば市吾妻1丁目1364-1



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ
(第2650地区)



つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email: gakuenrc@46gama.com